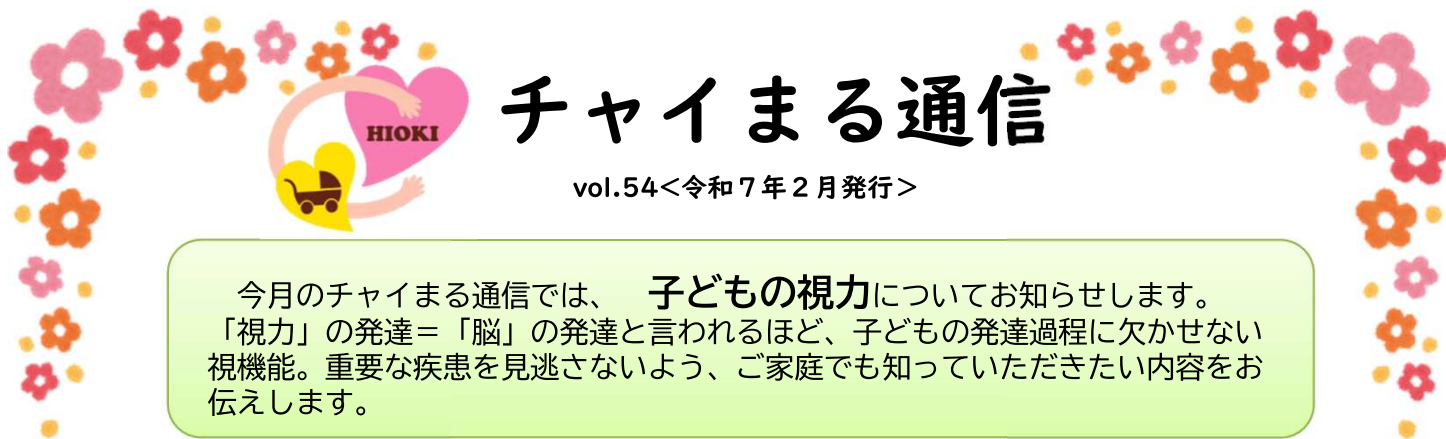




チャイまる通信

vol.54<令和7年2月発行>

今月のチャイまる通信では、**子どもの視力**についてお知らせします。
「視力」の発達＝「脳」の発達と言われるほど、子どもの発達過程に欠かせない視機能。重要な疾患を見逃さないよう、ご家庭でも知っていただきたい内容をお伝えします。

その「見える」同じですか？

見えるよ。



(視力0.3イメージ)



あそこに鳥さん、いるね。
見える？



(視力1.0イメージ)

良かった。
ちゃんと見えてる。

ちゃんと**はっきり**見えてる？

じつは・・・

およそ、**50人に1人**のこどもに**弱視**が見つかります。



※**弱視**とは、視力の成長が停止しているために、メガネやコンタクトレンズを使っても視力が悪い状態をさします。



でも、こどもの弱視は、見逃されがち。本人も家族も気づかないものです。

その**理由**は・・・

①子どもが見えにくさを自覚していない

②幼児は視力で0.2～0.3程度あれば不自由なく行動できるので、親は気づかない

③片眼の視力が良好であれば生活に支障がない

出生時から
ぼやけている



見え方に
違和感なし



不自由なし

と感じてしまう

しかも！！

弱視の治療には**タイムリミット**があります

【視力発達の目安】

視力 1.0

発達途中で停滞していても、
3～4歳なら再スタートできます。

視力 0.5

視力 0.02

3歳までに視力は急速に
発達します。

6～8歳以降、脳は視覚刺激を受けてもあまり反応せず視力が
発達しにくくなります。

生まれた直後

3歳

6歳

成長するにつれて視力の発達はスローダウンして**6～8歳で完了**します。治療開始のタイミングを逃すと、思うように効果が上がらず、めがねやコンタクトレンズを使っても生涯十分な視力を得られないことがあります。

弱視は小学校入学までに治療を完了へ

注意すべきこどものしぐさとは？



☐片目をかくすと嫌がる

☐ひとみが白く見える、光って見える

☐テレビとの距離が近い

☐目の位置がずれる

☐目を細めたり顔を傾けて見る

☐目がゆれる

3歳児健診を受けましょう

「3歳児健診」では、生後初めて視力を測る機会になります。弱視の早期発見にとっても重要です。うちの子は大丈夫と思って、ぜひ健診を受けましょう。

弱視発見には**視力検査**と**屈折検査**を両方することが大切です。

※家庭で行う検査 ※健診会場で行う検査



視力検査



屈折検査

【お問い合わせ先】

こども家庭センターチャイまる

〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目100番地

専用ダイヤル

TEL 099-273-2177

【開設日時】

月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始は除く）

午前8時30分～午後5時

【所属】

日置市こども未来課子育て支援係・健康保険課健やか母子係